

時報

少女の談話會

◎記者様私達も此度御意見に従がつて、談話會を開きました。今日は其第一回例會の當日よ、會場は副會長根本松江様の御宅出席會員九名、少し許りですが、皆心の合つた御友達なので、大變都合がよろしう御座いますの、先づ午後三時半開會、根本様の開會の辭、次が會長副會長のの撰擧で、私と根本様が當撰、それから會長副會長就任の辭、次が根本様の逗子紀行記、私の明智光秀の妻、木村重成の妻、四郷頼母の一家、鳥居與七郎の妻、などのお話、それから會員落雷者の談話で、後は茶話、皆一口語だのお伽噺などして、餘興は催眠術、豚の尾、奇々妙々傳などして楽しく六時近くまで知らずに遊びました、それで名残りを惜しみながら、閉會いたしました、會費は菓子代として三錢、實は昨日曜に開く筈でしたが、都合あつて今日にいたしましたの、來月はまだ期日が定まりません右報告まで左様なら（岩代國須賀川町 服部貞子報）

【入力者注】 5行目「副會長のの」は底本のままです。

底本…「少女界」明治三十七年第七號

入力…小林 徹

公開…令和六年七月十六日

リンク…[作品年譜](#)